

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

熊本県・みふね町議会



No.166
6月議会
R3.07

吉無田水源で川遊びをする園児（小さな森の子ども園）

6月議会

6月議会を6月10日から15日まで開催した。報告6件、財産の取得1件、陳情・発議が4件など合計19件の議案を審議採決した。また、4人の議員が一般質問を行った。

報告

あらかじめ議会の議決によって指定した軽微な議案について、町長が意思決定（専決処分）した事の報告です。

御船町税条例等の一部改正

町道落合浄光寺線四宮橋上部工工事、御船台団地地区宅地耐震化推進滑動崩落対策施設（路面復旧）工事変更契約

一般会計補正予算(第1号) 補正額 +28,598千円 補正後合計 10,678,636千円

繰越明許費繰越計算書、事故繰越し繰越計算書

契約締結



御船中学校トイレ改修等工事

財産の取得

小中学校で使用する教育用タブレットソフトウェア

条例の改正・制定

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る御船町国民健康保険税の減免の特例に関する条例

御船町介護保険条例の一部を改正する条例

認定

町長の提案に対して議会の認定を求めることです。

町道の認定 山王原線

同意

議決のうち、人事案件等に賛同を求めることです。

御船町教育委員会の委員の任命

補正予算



一般会計(第2号) 補正額+279,066千円 補正後合計 10,957,702千円

国民健康保険特会(第1号) 補正額 +90千円 補正後合計 2,329,193千円

緑の村運営事業特会(第1号) 補正額 +2,500千円 補正後合計 30,965千円

発議とは、議員が議会に対し議案を提案することです。
陳情とは、個人・団体が、国又は市町村等に対する意見や要望を議会に申し出ることです。

発議・陳情



御船町議会基本条例の一部改正

町長の専決事項の指定

御船町議会会議規則の一部改正

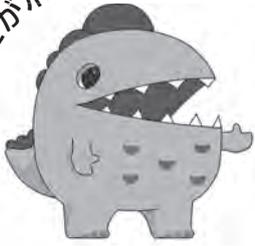


陳情第9号 幼児教育・保育の無償化に伴う副食費（おかず代・おやつ代）の新たな負担増について（陳情）【継続審査】



このマークの詳細は
次のページへ！

ここがポイント



PickUP

審議の一部を抜粋して掲載しています。他の審議内容はホームページまたは、情報開示コーナーをご覧ください。
このQRコードからどうぞ



PickUP

①

中学校トイレを洋式化へ

中学校のトイレを洋式化するため、建設分野では新規の業者と工事請負契約を結んだ。この工事に付随し、トイレの手洗い場の水道が自動水栓となる。雨の降りこむ箇所や停電時の備えのために手動水栓も一部残すこととしている。



● この工事は7,000万円以上の契約だ。受注業者は建築関係の工事でどれくらいの工事金額を施工しているか。

総務課長 平成29年7月26日に登記がなされているが町の建築の実績はない。

● 実績がゼロで今回約7,000万円の工事だ。公共で建築一式の場合は、必ず専任の主任技術者が要るが在置をされているか。

総務課長 今回の設計額の7,000万円を超えたところで、建設業法等によれば、専任の主任技術者を置く規定になっている。指名審査委員会の中でも、この辺が懸案事項であり議論した。監理技術者は6,000万円以上の下請を出す場合に必要になる。今回の工事でどれだけの下請に出すかは審査段階で未定だった。監理技術者等を置かなければならない事項は受注業者で対応していただく。

● 技術者はいるのか。今の答弁では、審査委員会のときは未定だったということか。

総務課長 審査委員会の際に技術者が2名と確認をしている。一人は社長、あと1人は2級の土木施工管理技士だ。令和3年2月1日には1級建築士を雇用している。雇用保険、健康保険等の手続の書類も確認した。

● 中学校ということで、工期が一番心配だが大丈夫か。

学校教育課長 しっかり監督をしていく。

● 落札率は何%か。

学校教育課長 応札は8社で落札率は92.9%。

● 質疑を聞いていると不安になってきた。会社の設立から間もないという点でも大丈夫なのか。

学校教育課長 これまで大きな受注をされていないが、4つの建物に分かれており、工期内に工事が終わるよう指導する。



洋式化される御船中学校のトイレ

PickUP

②

財政調整基金の残高は？

町が、年度によって生じる財源の不均衡を調整するために積み立てている「財政調整基金」から、主にコロナ対策事業のために約6,300万円を取り崩した。



● 財政調整基金の繰入金約6,300万円あるが、この補正後の残高はいくらか。

企画財政課長 令和2年度末の財政調整基金の残高が10億8,685万8,000円で、今回6,394万5,000円取り崩したので、残高は10億2,291万3,000円。



③ スポーツセンターがワクチン会場、避難所は？

ワクチン接種会場となっているスポーツセンターを当初の予定より延長して貸し切り、引き続き集団接種の会場とすることとなった。

問 新型コロナワクチンの事業変更とは何か。

健康づくり保険課長 スポーツセンターでの集団接種を2月まで延長した。

問 7月、8月はスポーツセンターを避難所として使うからワクチン接種は別な場所を使用すると言っていたがいつ変わったのか。

健康づくり保険課長 今、スポーツセンターでスムーズにワクチン接種が行われている。今後もスピーディにやりたいので延長した。

問 もしも避難所が必要になった場合は、どこを考えているのか。

総務課長 一時避難所として、御船小学校と協議をし体育館に避難所を設けた。

問 約1,700万円のクーラーのリースとあるが、こういったものを設置するのか。

健康づくり保険課長 熊本地震の避難所等に使用したクーラーを計画している。

問 地震の時は体育館全体を冷やしていた。今回はその必要がないので、使用する場所を囲むように空調を設置するなど、経費を削減できるように検討してほしい。



④ プレミアム商品券、第3弾！

1万円で1万5千円分の商品券が購入できるプレミアム商品券。今回は1世帯につき小規模店舗用1冊と全店舗用1冊の計2冊までの購入が可能。追加販売は行われぬ。

問 交付金全体の55%がプレミアム商品券補助事業だがこの事業の説明を求め。

商工観光課長 事業主体は御船町商工会である。全ての登録店で使用できる「共通券」と、小規模店舗のみで使用できる「小規模店舗限定券」の2種類を発行する。

問 プレミアム商品券は余った場合はどうするか。

商工観光課長 今回はすべての世帯が購入すれば残は発生しない。また、残が生じた場合も、現時点では追加販売を考えていない。また、できるだけ全世帯に購入してもらえるように販売方法を調整しており、中山間地区での販売、販売期間の延長、郵便局での販売、販売日を増やすなどの案が出ている。



ワクチン接種会場となっているスポーツセンターの様子

PickUP ⑤



飲食店応援チケット配布

コロナ禍で大打撃を受けている飲食店を応援するために3,000円分のチケットを全世帯に配布する。対象の飲食店は店内飲食に限らず広く設定する予定。

図 飲食店応援チケットの説明を求める。

商工観光課長 町内の飲食店で使える500円6枚つづりの3,000円のチケットを全世帯へ1冊ずつ配布する。コロナ禍で大きな影響を受けている町内飲食店等を支援することを目的とする。対象の飲食店はデリバリー、テイクアウト、仕出しなど、広く設定したいと考えている。

図 具体的にどのような内容か。

商工観光課長 一般会計の中で通信運搬費を計上しており、全世帯に金券を郵送する。使用期限は3カ月から4カ月ぐらいを考えている。



※この画像はイメージです。

PickUP ⑥



幅広い対面接客事業者への補助

飲食店に限らず、対面接客を行う幅広い分野の事業者が取り組むコロナ対策を支援するための補助を行う。

図 対面接客事業者感染症対策支援補助金の説明を求める。

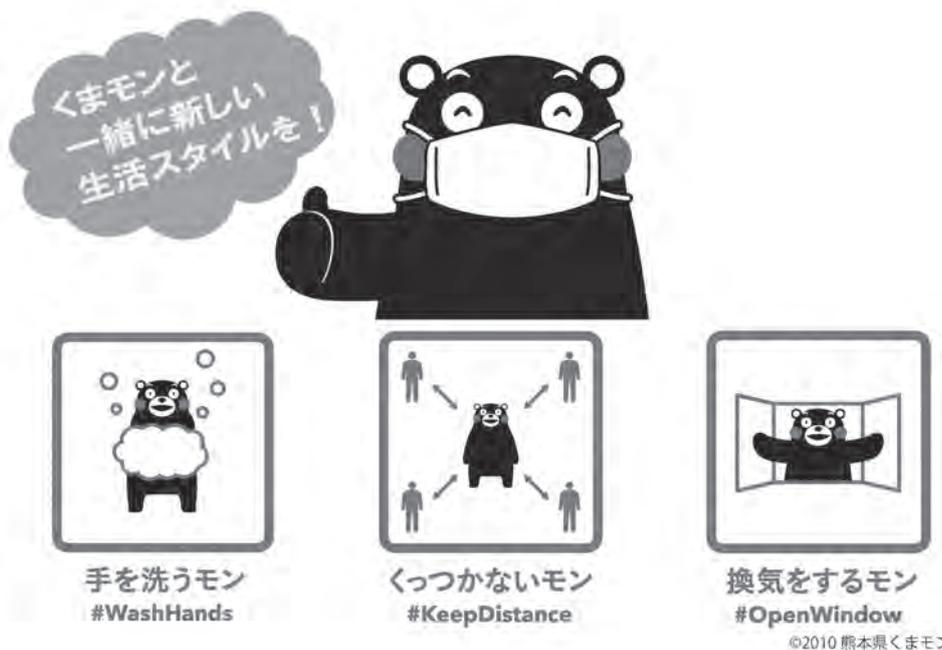
商工観光課長 県の新型コロナウイルス感染症対応総合交付金を活用する。対面での接客を伴うあらゆる事業者が行うアクリル板、CO2濃度計などの備品等購入費を最大10万円補助する事業である。これまでの飲食店の支援に加え、小売店、宿泊施設、理容店、美容院、施術所、タクシーなどを対象とする。

図 他の補助金を受けた事業者も補助金が受けられるか。

商工観光課長 これまで補助を受けた設備・備品は対象外だが、令和3年2月5日以降に導入された備品等は対象になる。また、熊本県の認証制度との併給も可能である。

図 対象となる備品や申請方法の説明を求める。

商工観光課長 事前に、対象になる備品リスト等で確認できる。申請に必要な書類は、納入したときの写真や領収書などを想定しており、事業者の負担にならないように、できるだけ簡素、簡便なものにしたいと考えている。



御船町議会基本条例の一部を改正する条例の制定について

議会改革特別委員会委員長 岩永宏介

議会改革特別委員会の委員長から、御船町議会基本条例の「予定価格4,000万円以上の工事または製造の請負契約」を議決案件と規定する条文を削除する議案が提出された。

問 契約の議決に関して地方自治法では5,000万円以上という定めがあり、各自治体で実際いくらにするかを条例で定めるようになっている。

御船町の場合、どの条例でいくらと定められているのか。

委員長 「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」で5,000万円以上と定めている。

問 その条例は議会が提案したものか。

委員長 確認できた条例改正はすべて執行部の提案であり、条例自体も執行部提案だと考える。また、他の自治体ではほぼ同時期に同じ内容の条例が執行部の提案で成立しているので、本町の

ものも執行部が提案したものとする。

問 「契約金額に関する矛盾した二つの条例の整合性をとることにした。」ということだが、そもそもなぜ議会基本条例では町の条例に矛盾するような金額を設定したのか、調査検討は行ったのか。

議会基本条例制定当時の議会の思いは理解しているのか。

委員長 議会基本条例が町の条例と矛盾する金額になっている直接の原因は、議事録等を見たがわからなかった。

議会基本条例制定当時の先輩議員方の思いも特別委員会で十分検討した。また、法律の専門家の意見も聴取した上で改正を提案している。

私は賛成

討論

私は反対

【福永啓議員】

4,000万円という金額については、個人的には残しても良いと考えるが、この金額には違法性の疑いがあり変更すべき、という委員会の判断は尊重する。一方で、今回の条例改正により、議決事件の契約が、町条例に沿った5,000万円以上となるが、本来この条例は議会の発議であるべきにも関わらず、執行部提案となっているなど、二代表制の基本理念を大きく逸脱した条例制定経緯となっている。ここは必ず改めなければならない。

【増田安至議員】

地方自治法という条例の上位にあたる法律と議会基本条例に相違があり、ダブルスタンダードとなっている。県内でこのような条例があるのかの確認もした。これまでは、議会改革の先頭に行くにはふさわしい、という考えでやってきたと思うが、やはり地方自治法に合わせるべきではないか、という考えで委員会の中では答えが出た。

【井藤はづき議員】

御船町に2つの条例が存在し、この金額が5,000万円と4,000万円と違っていることに対する整合性が論点になっている。整合性をとって、片方に合わせるという委員会への決定には賛成する。ただし、合わせた条例が執行部提案であり、削除した議会基本条例は先輩の議員方が議決に付すべきものは議会が決めなければならないという教えで金額設定をしたものであるため、改めて議会発議として、金額を設定した条例を制定すべき。

【田上忍議員】

金額については、議会基本条例を作ったときに十分吟味をされ、議会改革を示す上でも通常5,000万円を4,000万円にしたと理解している。5,000万円に戻して、一番に誰が喜ぶのか。町長は4,000万円ぐらいまでは議会に諮らなくてもよくなる。業者もこれで契約がうまくいくようになってくると思う。先輩たちが作った4,000万円という金額はこのまま残してほしい。

【田上英司議員】

ただ一言、改正の必要性は薄い。



討論ってなに？

詳しくは9ページへ！➡

「幼児教育・保育の無償化に伴う副食費(おかず代・おやつ代)の新たな負担増について」(陳情)の審議について

産業厚生常任委員会委員長 岩永宏介

熊本県多子世帯子育て支援事業により、保育料が無料だった第3子以降の子どもの中に、国の幼児教育・保育無償化に伴い、副食費の負担が生じることになった多子世帯が発生した。激変緩和措置として令和元年度は県と町で1/2ずつ、令和2年度は町単独で補助していたが、令和3年度からは国の法律に準じ副食費負担を現行に戻した。この陳情は、町に引き続き副食費の補助、もしくは新たな支援策を求めるものである。

担当課より令和3年度から副食費の負担を求めるに至った経緯の説明、陳情者より陳情の趣旨について聴き取った。審議では『国・県の方針や郡内自治体の状況に合わせるべきで、町単独での負担はできない。』という意見、一方で『子育て世代の負担を軽くし、かつ町独自の施策として、町単独でも負担していくべきである。』などの意見が出された。採決の結果、賛成少数により委員会としては「不採択」となった。

私は陳情に賛成

討 論

私は陳情に反対

【福永啓議員】

コロナ禍で、町民生活が疲弊する中、年45,000円という多額の出費を急に、多子世帯に対して強いる事は、世帯の日常生活に、子育てに、大変大きな影響を与える。今回の陳情内容は、町の活性化及び人口増加に資する子育て支援につながる内容でもあり、議会として推し進めるべき提言でもある。一方で補助事業を打ち切るという町の説明に合理性を見出すことは難しく、逆にこれまでの町の方針や、国の方針とも相反する判断と言わざるを得ない。

【井藤はづき議員】

この陳情は、「副食費の補助を復活させてください」というだけのものではなく、「多子世帯における、新たな負担が生じることの無いように、何らかの施策を講じてほしい」というもの。副食費の補助を打ち切ることがやむを得ないならば、総合計画の中で「子育て支援体制の充実」をうたう御船町として、この補助制度に代わる、何らかの施策を講じるべきではないか。少子化を大きな課題とする御船町の子育て支援を充実させるため、何らかの施策が必要だ、というのは、真つ当な意見であり、議会としても支持するのが適当。

【田上英司議員】

多子世帯に対する支援は、家庭の負担軽減措置を図る上でも、少子化対策に非常に重要なことではないか。若い御夫婦が転入してくるような何か特徴ある少子化対策が必要。副食費補助に限らず考えられる対策をとる手もある。御船町を考えた場合に本当に真剣に、考えなければならぬ。

【中城峯雄議員】

さらに子育て支援を充実させ、出生率を高めていく取組みは重要な課題であり、陳情者の思いにも賛同できる点はある。ただ 国・県、郡内の他町は廃止した状況で、御船町だけが継続するというには賛同者が少ない。陳情提出の準備期間がなかったとはいえ、拙速感是否めず、陳情者はもっと多くの保護者の意見を聞くべきであった。今後議会・執行部で人口増加につながる議論をさらに深めていかなければならない。

【田上忍議員】

実際には、副食費について何らかの対応をとってほしい。そして御船町独自の子育て環境充実を図ってほしい。しかし、産業厚生常任委員のメンバーでもあるので、委員会の決定を支持する。



採決の結果、賛成少数で本陳情は不採択となりました。

■ 全会一致とならなかった議案の賛否結果

○…起立 ×…不起立

番号	議案名	中城	井藤	宮川	福本	田上え	増田	森田	岩永	福永	田上し	藤川	清水	井本
議案 4	工事請負契約の締結について	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	欠
発議 1	御船町議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	欠
発議 2	町長の専決事項の指定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	欠
陳情 9	幼児教育・保育の無償化に伴う副食費（おかず代・おやつ代）の新たな負担増について（陳情）（令和2年度からの継続審査）	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	欠

その他の議案はすべて全会一致で可決されました。

議会タブレット 本格始動開始！

昨年度、コロナ対策の交付金を活用して予算計上していた議会のタブレットが5月下旬に納入され、6月16日に議員に配布、同日タブレットの基本研修が行われた。

納入業者からタブレットの基本操作を始め、連絡管理アプリ「LINE WORKS」、遠隔会議システム「Zoom」の操作方法など常任委員会ごとに2時間

ほど研修を受けた。

普段からタブレットを使い慣れていない議員からは研修前には不安の声も聞かれたが、研修が始まると最新の機能に感心する声が多くあがっていた。7月21日にはペーパーレス会議システム「MetaMoji」の研修も行われ、今後の議会活動に大いにタブレットが活用されることが期待される。



議会改革度調査ランキング 2020

御船町議会が全国24位にランクイン！

早稲田大学マニフェスト研究所が実施している議会改革度調査で、御船町が上位にランクインした。この調査は、全国の自治体議会が議会改革、情報公開、住民参画の3部門で評価される。御船町は調査に参加した全国の572町村中24位にランクイン。熊本県内では、15町村中1位を獲得した。

通年会期制の実施や議会広報誌の毎月発行、議会報告会の実施や政務活動費の支給など従来からの取

組みに加え、タブレット端末の導入などICT化への取り組みや議会災害対策会議の設置、広報誌での住民参画（かがやく人、モニターコラム、御船高校との交流）などが高く評価された。

詳しくは、
早稲田大学マニフェスト研究所
議会改革調査部会 HP へ



ただ

動画配信はこちらから

町政を質す!



6月議会一般質問



福本 悟 議員



町長の政治姿勢は



田上 英司 議員



行政の危機管理(自然災害・
新型コロナ)は万全か



福永 啓 議員



開発で失われた
保水能力対策を!



増田 安至 議員



町づくりの更なる
発展に何が必要か

おしえて! Vol.4
ふねまるくん

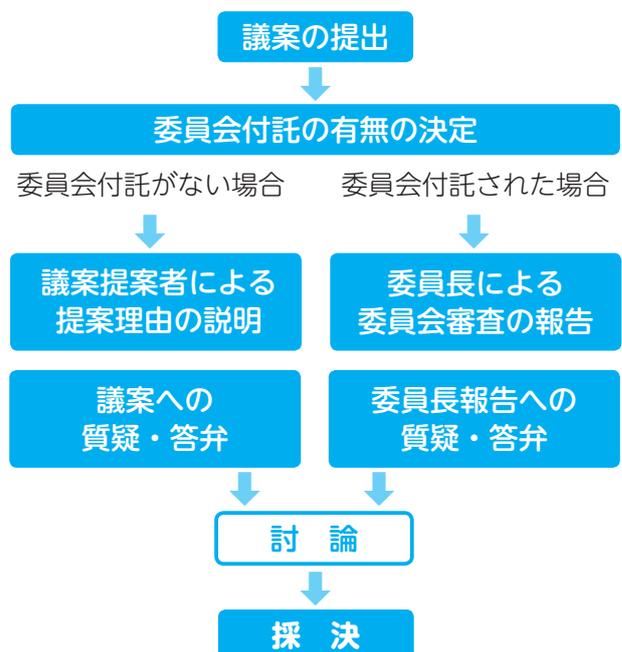


「討論」って何?

議題となっている
議案が採決される前
に、議員が賛成もし
しくは反対の立場から
演説することを「討
論」といいます。

賛成討論・反対討論は自分の意見を表明
するだけでなく、採決の前に意見の違う議
員を自らの意見に同調させるための最終的
な機会ともなります。

議事の主な流れ



質問の背景

藤木町長が2期目就任されてからの2年を振り返り、約束事である3つの施策として一つ目に「震災復興計画の確実な実施」、二つ目に「地方創生総合戦略の推進」、三つ目に「総合計画の策定」に取り組んで来られた。その施策の成果と課題及び実施計画等の公表「見える化」について伺った。

問 町長の政治姿勢を問う。

町長 町政運営を振り返り、平成28年熊本地震により甚大な被害を受けその対応を最優先課題として取り組んだ。今日に至るまでに、一歩ずつ着実に復旧・復興を進めることが出来たのは、町民一丸となった「オールみふね」による取り組みの成果である。総合計画に掲げた事業については足を止めず、工夫を凝らしながら「わくわくする御船町」を築いていく。

問 被災者に対する住まいの確保、成果と課題は。

建設課長 災害公営住宅と単独住宅を整備。課題は、団地内の見守り支援など。

問 地域支え合いセンターの現状は。

福祉課長 本年3月25日に閉所。社会福祉協議会内に「暮らしの相談窓口」を設置、多機関の協働による包括的支援体制構築事業に取り組む。

問 道路等インフラの整備、成果と課題は。

建設課長 公共土木災害は、全て完了。課題は、宅地耐震化事業3件が未完了。

問 農地等の復旧工事、成果と課題は。

農業振興課長 全て完了。

問 お伺い行政への取組み、成果と課題は。

総務課長 職員が地域に出向く。課題は、地

域へ出向く機会を確保。

問 防災行政無線の利活用、成果と課題は。

総務課長 多様な利用方法で、情報発信。課題は、放送が聞き取りづらい。

問 大型商業施設の誘致、成果と課題は。

商工観光課長 コストコホールセール熊本御船倉庫店が開業。課題は、来客者の町内回遊と経済効果。

問 積極的な移住定住の促進、成果と課題は。

企画財政課長 空き家バンクやお試し移住ハウスを構築。課題は、契約可能な空き家の登録が少ない。

問 定住人口に繋がったのか。

町民税務課長 令和2年度から人口増加。

問 総合計画の実実施計画や進捗状況の公表（見える化）については、議会モニターからも同内容の質問をいただいた。見える化について、町長の見解は。

町長 実施計画は、本年7月に公表予定。



写真は、第6期 町総合計画

質問を終えて

実施計画の「見える化」7月に公表予定、町民の町政への関心を今以上に高め、町の将来像である「みんながわくわくする御船町」が築かれるものと考えている。

町長の政治姿勢は

町民一丸となった「オールみふね」の取り組み

福本 悟 議員

質問の背景

危機管理には有形・無形がある。極めて重要なのが住民に対する情報発信であり、欠くことのできないライフラインである。災害等において生命を失い、怪我をしても自己責任ではない。住民を守る行政の力不足であり、公助が一番大切である。

問 自然災害において高橋警視總監が災害に負ける時は、必ず原因があるといわれている。みんな安全・安心をごちゃまぜに言っている。安全は行政のリスクの管理で行政の仕事、安心は人間の心理、安心には行政が住民を安心させる努力が求められている。避難場所は命からがら逃げこむ場所、避難所は避難して生活する所であり本町の避難場所・避難所はどこか。

総務課長 カルチャーセンター・御船小学校等13カ所で避難場所・避難所を兼ねている。

問 避難所は密を避けるため何名ぐらい収容できるのか。

総務課長 一人当たりの面積から約3,000人となる。

問 避難所の開所時間より早く町民が来た場合、避難所を早めに開け、町民を入れてほしい。

総務課長 防災行政無線で周知し、早めの開設に対応していく。

問 行政は災害対応の核である。空振りであっても良しとし実践的訓練であると認識する。避難のスイッチを入れるため判り易い言葉で呼びかける必要があるのではないか。

総務課長 空振りに終わったとしても最高の結果だと思い、みんなが行動していただきたい。

問 本年5月末現在での本町での新型コロナ発生の数等は。

健康づくり保険課長 5月末現在、陽性者121名、クラスター4件、死亡者1名である。

問 新型コロナ対策も実効性が担保されないという意味がない、本町独自の対策はあるか。

健康づくり保険課長 期日を指定し集団ワクチン接種を行い、好評を得ている。

問 国の交付金の使い方、経済は民にとっては生命の問題、対策は何をするかではなく、何をやりたいかであり対策はあるか。

企画財政課長 プレミアム商品券の発行、10万円の飲食店応援支援金、子どもスマイルチケット、大学生応援給付金を実施。さらにプレミアム付き商品券や飲食店応援チケットを予算化している。

問 5月15日熊日新聞のスcoop記事、今では良しとされるが町長3役が一般住民より先にワクチン接種したきとは、田村厚労大臣や木村県副知事も公平性・透明性等事前に周知しておく必要があったと苦言を呈している。自己の栄達と欲望のための行動は慎まなければならない。政治は結果であり、住民は期待している。見えない敵と戦っていく覚悟を持って前進していただきたい。



質問を終えて

憲法で公共の福祉と自由をうたっているが、この非常時に公共の福祉が優先し、何が公共の福祉であるかとのコンセンサスが必要。ワクワクする町がドキドキする町になっては終わりである。次回また危機管理について質問する。

行政の危機管理(自然災害・新型コロナ)は万全か
災害に強いまちづくりの実現をめざす



質問の背景

開発が進む町内においては、水田の減少による保水能力の低下や、局地的豪雨による内水氾濫など治水が喫緊の課題である。同じく喫緊の課題であるワクチン接種と共に一般質問を行った。

問 コストコ周辺及び西往還の複合施設周辺の開発において、保水能力の低下はないのか。

建設課長 計算上、周辺の道路開発を含み開発による保水能力の低下に対する対応はできている。

問 近年、町中心部で急速な開発が進み多くの水田が無くなっている。御船川の改修が終了した平成8年以降、どの程度の水田が開発により失われ、そのうち、法律で調整池が義務付けられていない開発はどの程度か。失われた保水能力に対してどのような対策を講じるのか。

建設課長 町中心部の平成8年度末農地面積は約60ヘクタールであり約34ヘクタールの農地が開発等により転用された。うち調整池が設けられた開発が3件で4ヘクタールあり、計算上は約30ヘクタール分水田の保水能力が失われたことになる。

環境保全課長 浸水シミュレーションを基に、今年度『雨水管理総合計画』を策定し、令和5年度にかけて雨水事業計画の見直し、計画策定、実施設計に入る予定。

町長 総合計画の基本目標である「みんなが住み続けたい御船町」の実現のためには、内水問題の解消が必要不可欠。

問 ワクチン接種の現状と今後の計画についての説明を求める。

健康づくり保険課長 65歳以上の希望者に対しては7月18日に接種終了の予定。64歳から60歳と基礎疾患のある方々は続けて接種開始

を予定している。59歳以下の方々の具体的接種日時はワクチン供給が確定していないこともあり未定だが、11月までにはワクチン接種を希望するすべての町民に対し接種を完了させたい。

問 自治体の長がワクチン接種したことに対する批判的な報道等があるが大きな違和感を感じている。議員を含め、町民から負託を受けた者は単なる個人ではなく、多くの町民の代表であり、町民福祉向上を図らなければならない義務と責任がある。町長は町民を守るためにも、率先してワクチン接種しなければならない立場であると考えがいかかがか。

町長 私も余ったワクチンを率先して接種したが、それは個人として接種したのではなく、町民から負託を受け、町民の健康に責任を持つ、自治体の長の責任として接種した。



質問を終えて

内水問題に関しては、矢形川浚渫のめどが立たない以上、遊水地機能を兼ね備えた防災運動公園計画の優先順位を上げるべきと感じた。

**開発で失われた
保水能力対策を!**

安心して住み続けられる御船町の
実現に向けてしっかり取り組んでいく

福永 啓 議員

質問の背景

町の「お伺い行政」では、職員が地域に出向き、声を聞き、コミュニティー形成を醸成する事とされている。町づくりに必要な、商工会、商工観光課、観光協会の連携強化を確認し、更に、地域コミュニティーの拠点として公民館の役割と方向性について質問した。

問 町づくりに何が必要か。

町長 商工会と観光協会との連携は非常に重要であり、町づくりの中心だ。町の総合計画と共有しながら地域の観光資源を有効活用して着地型観光に取り組んでいく。

問 ふれあい広場の管理はどうか。

建設課長 本年4月から観光協会が管理・運営している。コロナ禍で、公園の利用者は相当増えた。ソフトクリーム販売や物産イベントマルシェなど開催した。

問 町の関わりはどうか。

商工観光課長 町の総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略の目指す方向性についても共有し、町内への交流人口増加や経済効果向上を図っている。

問 具体的には？

商工観光課長 化石発掘体験事業、恐竜ガイドの人材育成、特産品「御船のいさぎ」の販売、ふねまるポロシャツのアパレル事業など。情報発信事業として福岡天神イムズでPR活動、新酒まつりなど積極的に行っている。

問 町には商工会、観光協会、商工観光課がある。3者の協力関係はどうか。

商工観光課長 観光協会が人を呼び込み、商工会が稼ぐ、そして町が調整し経済効果を循環するトライアングルを計画していく。

問 公民館長の役割はどうか。

教育長 中央公民館長は教育長が兼務し、分館長は地区代表を置いている。町公民館条例にその役割を定めている。

問 守備範囲が多すぎるのでは。

教育長 地域の学習拠点として地域・学校・家庭が連携できるよう支援する。各分館はそれぞれに地域の特色を生かした活動を行っている。

問 公民館事業効果はどうやって把握するか。

社会教育課長 町教育振興基本計画の指標に沿って、評価を毎年出している。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により、事業ができなかった。

問 緊急時の災害対応はどうか。

教育長 住民が日頃から集まる場所が公民館であり、住民自治で緊急避難場所として分館が使われることがある。指定避難所は町職員が対応する。

問 活動の予算はどうか。

社会教育課長 運営費として10分館に均等割と人口割により、75地区集会所には均等割で負担金を配分している。自主事業は今後も支援していく。



ふれあい広場内観光施設のオープンセレモニーの様子

質問を終えて

御船町はコストコの進出で交流人口が増加している。一方で、更なる地域の役割も重要だ。町全体で継続的発展が出来るよう、更なる仕掛けが必要だと感じた。

町づくりの更なる 発展に何が必要か

着地型観光という方向性

増田安至 議員



モノづくりで恩返し

もともとモノづくりが趣味で、高校卒業後、技能能力開発センターに進み市内の自動車钣金塗装工場に就職しました。働きながら、自動車整備の資格を取得し、平成8年に退社。そこから友人たちの支えもあり独立開業いたしました。これまでたくさんのお客様にお世話になり現在に至ります。おかげさまで二十五年目を迎え感謝の限りです。



西木倉 松本勝利さん

ど様なことを学ばせていただきました。それから辺田見地区の理事をさせていただき、今年度より第十代目の御船町商工会会長に就任致しました。わたしのようなものがという気持ちもございますが、今までお世話になりました商工会や皆様方に恩返しができますよう、また商工会の更なる進展のために専心努力していく所存でございます。

地震、水害、現在コロナ禍と今まででない生活をすごしている世の中ではございますが、人々が幸せに暮らせるようにと望み微力ながらも、お役に立てよう頑張りたいと思います。

議会の予定8月

- 6日(金) 全員協議会
- 12日(木) 議会(予定)
- 17日(火) 上益城消防組合議会定例会
- 20日(金) 御船町甲佐町衛生施設組合議会
- 25日(水) 上益城広域連合議会定例会
県町村議会議長会正副議長研修



第40回熊日新鋭書道展特選 3年 向山智帆さん

モニターコラム 風

以前より、議会には多少興味が、知人から議会モニターを進められ応募しましたが、コロナ禍の真っ只中で今だ一度も議会傍聴が出来ていません。広報誌に載る議会報告を傍聴しているモニター気分で見えています。私は、今の季節になると消防出身のため、自然災害が特に気になります。5年前の熊本地震と、同年6月の水害が少しずつ頭の中から薄らぐ中、昨年7月に人吉水害が起き災害の恐ろしさが皆さんにも甦った事と思えます。地震後本町にも防

災無線が設置され情報伝達は町内隅々まで届く様になりましたが、災害が起き、いざ避難となると町内を流れる御船川を挟んで避難所は全て右岸側です。そこで、町議会でも検討して頂き、町内左岸側の住民の命を守る為旧町営住宅跡地を利用して、妙見橋から滝川橋の左岸側に2箇所程避難所兼集会所の建設を願う次第です。



古閑敬一 議会モニター